

研修体制及び研修農場整備による新規就農者確保・育成

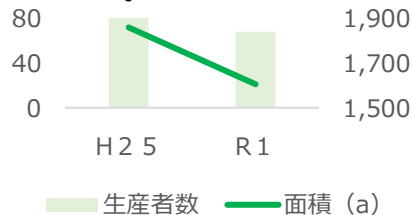
- ＪＡあいち三河管内の主要品目である「いちご・なす」の産地規模が縮小傾向となっていた。
- 令和元年よりいちご塾・令和４年よりなす塾を開講し、新規就農者確保・育成に取り組む。
- サポート体制構築事業を活用し、研修体制の拡充及び研修用施設整備に取り組む。
- 事業活用により令和７年度までに新規就農者２３名（いちご１８名・なす５名）を確保し、産地規模の維持・拡大を達成。

【位置図】



取組前

- 高齢化・後継者不足により産地規模縮小が進む。
- 新規就農者は技術不足により、経営が安定せず離農される方も見られた。
- 地域に上手く溶け込めず、孤立してしまう就農者も見られた。



いちご	生産者数	面積
H25	83	1,859
R1	68	1,605

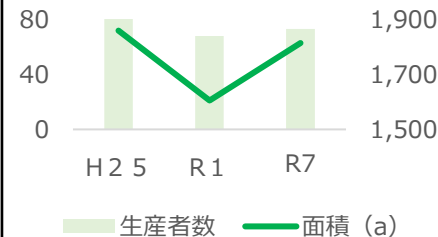
取組内容

- Ｒ４年度は、新規就農者向けのなす塾を創設し、支援体制を確立。作業倉庫等を整備。
- Ｒ５年度は、いちご塾の研修農場(38a)の整備及び就農相談体制の整備を行った。
- 研修農場では環境モニタリングシステムを活用し、勘ではなく数値で栽培を理解できるよう研修を行った。



取組後(成果)

- Ｒ４年度は、なす塾を開講し、３名の新規就農者を輩出した。
- Ｒ５年度事業は、整備したいちご研修農場を活用し、３名の新規就農者を受入、実践的な研修を行った。



いちご	生産者数	面積
R7	73	1,814
うち新規	18	315.3

【サポート体制】

- いちご塾・なす塾
- 研修調整：ＪＡ
- （研修全般の運営）
- 実習：生産部会、ＪＡ
- （農家ほ場・ＪＡ研修施設）
- 講義：県普及課・経済連
- （座学・視察等）
- 就農準備：県・市町・ＪＡ
- （農地確保・施設確保等）
- 農業基礎：県農業大学校
- （農業全般基礎・仲間づくり）

新規就農者や研修生の声

- 研修制度により既存農家や地域との関係性が築きやすくなった。
- 研修農場で自ら実践的な栽培を行うことにより、就農後の予行練習となり大きな自信となった。

サポート体制構築事業 活用年度：令和４～５年度

【問合せ先】ＪＡあいち三河（営農企画課）

TEL：０５６４－５５－２９９４

E-mail：einoukikaku@ja-aichimikawa.or.jp

HP：<https://www.ja-aichimikawa.or.jp/>